

2009年(平成21年)8月1日 土曜日

未申 戸 新 開

民主党政庫連が1日、神戸・元町で計画していた衆院選県内小選挙区の公認、推薦候補予定者12人による合同街頭演説会が、前日(31日)になって中止となった。地元での日程を重視する候補予定者たちとの調整不足が主な理由とされ

田中アレルギー 民主合同演説会中止



12人の合同演説会に代わる、県連は急きよ、民院議員(53)、民主の推薦主、国民新党、新党日本を受ける9区の国民新元の3党演説会を1日午後3時半から大丸神戸店前で開催。田中氏のほか、

今回の街頭演説会はも

崩れた「そろいふみ」作戦

地元日程優先 候補予定者集わず

繁華街で有権者に握手を求め、自身と新党日本への支持を訴える田中康夫氏=7月19日、神戸市内(撮影・峰大二郎)

ともと衆院選で国民新党、新党日本との選挙協力を進める民主党本部が兵庫県連に開催を要請。

県連は公認、推薦の立候補予定者12人全員がそろ

えば、政権交代を有権者により強くアピールできると考え、今週初め各陣営に参加を打診した。

ところが、神戸市外の公認候補予定者を中心、「地元行事への参加をキャンセルできない」「選挙区を離れ神戸に行くメリットがない」など不参加の申し出が相次いだといふ。

県連は宮本、田中両氏以外の参加者を、同市の公認候補予定者に絞り開催を模索したが、いずれも参加の意思を示さなかつたという。

背景には、神戸空港建設をめぐって、推進の立

ともと衆院選で国民新党、新党日本との選挙協力を進める民主党本部が兵庫県連に開催を要請。田中氏への根強い不信感や反発があるという。今

回の演説会に県議、市議

らから「(田中氏と)一緒に街頭に立つ必要はない」との声も上がったと

され、支援を受ける立候補予定者たちがこうした反応に配慮、不参加を決めたとみられる。

県連幹部は「田中氏の推薦について県連内に今

も賛否が分かれているのは事実だが、演説会の変更に影響したとは思えな

る。一方で、8区に立つ新党日本代表、田中康夫氏(53)の参加が、かつて神戸空港建設をめぐり対立した同党神戸市議らの反発を招いたとの見方も。政権交代へ弾みをつけようという「そろいふみ作戦」はあっけなく崩れた。(1面参照)